

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二椎の実子供の家
日時	令和7年3月9日

### 1. 活動テーマ

<テーマ>

4歳児 『音』③楽器を作ってみよう！

<テーマの設定理由>

- ・リズムや音が鳴る仕組みに興味を持つ子が多くいた。
- ・自分達でも楽器を作ってみることで、より「音」を身近に感じたり、音を表現することを楽しんでほしいことからこのテーマを設定した。

### 2. 活動スケジュール

- ・2グループ 10～12人に分けて行う。
- ・1グループ、30分程度の活動時間で行う。

### 3. 探究活動の実践

<活動の為に準備した素材や道具、環境の設定>

- ・カメラ ・iPad ・iPhone ・記録用メモ
- ・プラスチックコップ ・セロテープ ・ビニールテープ
- ・様々な形、大きさのビーズ ・ビー玉 ・おはじき

<活動の内容>

- ・プラスチックコップや様々な素材を使用して楽器（マラカス）を制作する。
- ・自分で作った楽器を使って自由に音を鳴らす。
- ・音を鳴らしている様子を保育者がカメラ・iPhoneで撮影する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

- ・「このビーズを使ったらどんな音がするのかな？」「ビー玉は大きいから大きな音が聞こえそう」と素材によって音が変わること、どんな音が聞こえるのか期待を膨らませながらプラスチックコップに素材を入れていた。
- ・「おはじきってなあに？」見たことがない素材に興味を示す。
- ・制作したマラカスを広い場所で自由に音を鳴らした。「ビーズが中で揺れると音が出

るよ」と思い切り腕を振って大きな音を出すことを楽しんでた。

- 自由に音を出したことに満足すると「音を聞かせて」「わたしのはこんな音がするんだよ」と今度は友達のマラカスの音に耳を傾け、と自分が制作したマラカスとの音の違いを聞いていた。
- 最後は一人ひとりのマラカスの素材と音の発表会を楽しんだ。



#### 4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- プラスチックコップの中に入れる素材は、きれいなビーズなど魅力的なものを用意したことで一人ひとりが好きな素材を選んでマラカスを制作することができた。また、コップが透明であったため、友達がどのような素材を中に入れたかを見ながら音を聞き比べることができた。
- 制作した物ですぐに音を出して遊べる楽しさも味わうことができた。